

とくてん

じゅけんばんごう	なまえ

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょう
ぎのうひょうかしけん

かねつせいすいさんかこうしょくひん
せいぞうぎょう

かねつかんせいひんせいぞう

せんもんきゅう

がっかしけん

【きょうつう もんだい】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. すいさんかこうじょうでは、げんりょうからせいひんまで
えいせいかんりをおこなうことがたいせつである。

○	×
✓	

2. すいさんかこうじょうでは、かんたんなさぎょうのときは、
さぎょういをきなくてもよい。

○	×
	✓

3. げんりょうぎょかいそうるいのしよりは、ていおんと
たんじかんでえいせいてきにおこなう。

○	×
✓	

4. いわしは、あかみのさかなである。

○	×
✓	

5. かいそうは、かこうげんりょうにならない。

○	×
	✓

6. あかみのさかなは、しろみのさかなにくらべて、きんにく
ぜんたいにしめるちあいにくのわりあいがすくない。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

7. ぶたにくにすくなく、ぎょにくにおおいえいようせいぶんがある。

○	×
✓	

8. さかなのしゅるいによってせんどがわるくなるはやさがちがう。

○	×
✓	

9. せんどていかしたさかなをこおりにつければせんどがよくなる。

○	×
	✓

10. さかなのにくはすいぶんがおおくやわらかいのでくさりにくい。

○	×
	✓

11. じこしょうかこうそは、きんにくやないぞうにふくまれている。

○	×
✓	

12. みじかいじかんですばやくとうけつすることを、きゅうそくとうけつという。

○	×
✓	

13. さかなをとうけつしてからほかんすることをちるとちよぞうという。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

14. ぎょかいそうるいは、ていおんちょぞうやだっすい、
かねつしよりをする とほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

15. しょくひんにしおをいれるとすいぶんかっせいがたかくなり、
ほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

16. すいさんかこうしょくひんのひんしつがわるくなるげんいん
には、おんどやさんそなどのかんきょうとしょくひんの
すいぶんかっせいなどがある。

○	×
✓	

17. すいさんかこうしょくひんに、みそやししょうゆをつかった
せいひんはない。

○	×
	✓

18. ぎょにくはかんそうすると、すいぶんかっせいがていかして、
ほぞんせいがよくなる。

○	×
✓	

19. さかなのあたまをきりとり、ひらきにするきかいを、
ぎょたいしよりきという。

○	×
✓	

20. すいさんかこうしょくひんは、ほうそうきをつかうことが
できない。

○	×
	✓

【かねつかんせいひん せいぞう】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. かねつかんせいひんには、にぼしややきぼしなどがある。

○	×
✓	

2. ひょうめんだけがつよくかんそうしたじょうたいを
うわがわきという。

○	×
✓	

3. れいふうよりねっふうのほうがはやくかんそうする。

○	×
✓	

4. ぎょにくはひょうめんがかんそうしていればくさらない。

○	×
	✓

5. ぎょにくは、かんそうじにあんじょうすると、ひょうめん
だけがかんそうする。

○	×
	✓

6. にぼしいわしには、あぶらのおおいげんりょうがよい。

○	×
	✓

【かねつかんせいひん せいぞう】

7. にぼしいわしは、げんりょうを、うすいえんすいや
まみずでにて、かんそうしてつくる。

○	×
✓	

8. にぼしいわしのおおくは、とうけつしたげんりょうで
つくる。

○	×
	✓

9. ほしかいばしらは、ほたてがい、いたやがいのかいばしらで
つくるせいひんである。

○	×
✓	

10. かねつかんせいひんにはかびがはえない。

○	×
	✓